2023年7月28日 令和5年度彩の国さいたま国際協力基金

辺境地の女性・青少年の自立のための 高齢者介護職業訓練



認定特定非営利活動法人 国際協力NGO-IV-JAPAN

貧困家庭出身の女性・青少年の自立支援・就業 【活動の紹介】支援のための"実践"重視の職業訓練を実施し、 貧困解消に取り組んでいる。







「調理」

「縫製」

「理美容」



「木工・家具製作」



「ホスピタリティー・介護」

【事業対象国】

LAOS



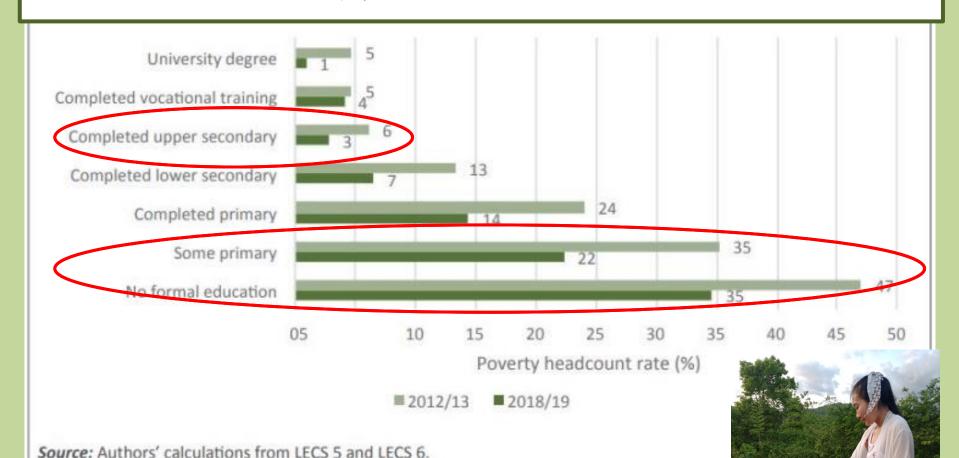






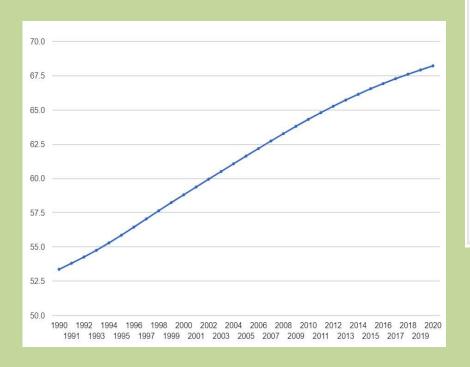


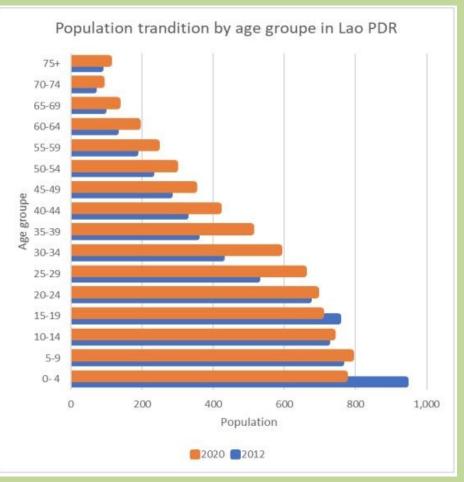
世帯主が受けた教育と貧困率の関係



経済格差と貧困は依然と顕在している

2020年平均寿命は68.2歳へ。1990年から、約16歳も延びた。





人口ピラミットはつぼ型 へ。出生率が低下し、高 齢化がより一層進行し ているのを現している。



ビエンチャン都 教育スポーツ局

介護職業訓練

介護人材不足

介護の専門的な技術 と知識を持った人材が 介護を必要とする人が ケアする。

貧困問題

職業訓練で 介護の専門的で質の 高い技術と知識を習得。

SDGs











高齢者介護職業訓練コースの概要

月	実施事業
8月	訓練生募集、受け入れ準備 ラオス人トレーナー等の配置
9月~11月	日本人理学療法士派遣 1期10名入学3か月間の職業訓練実施
12月~1月	実施評価、就業支援
1月~2月	エンドラインサーベイの実施

訓練期間中、訓練生は寮で生活を送る。

【事業概要】

ビエンチャン都ナーサイトン郡介護職業訓練所



訓練内容について

高齢者介護のための知識、技術や心理・コミュニケーション法を習得

- ①高齢者介護概論
- ②高齢者/障害者体験
- ③高齢者/障害者への理解と接し方
- 4身体介助
- ⑤食事介助
- ⑥高齢者の栄養
- ⑦清潔介助
- ⑧応急処置、
- ⑨責任感
- ⑩基礎英会話Ⅱ
- ⑪リクリエーション活動等
- ②スタディツアー





介護職業訓練の様子 講師の先生はタイから招いた専門家







介護職業訓練インターンシップの様子(首から下が麻痺の患者宅にて)











寮での共同生活は3か月 交代制で料理、家事などを分担します。







寮の農園と訓練所にグリーンベッドを作り研修生自らが野菜作りをしました。











国立リハビリテーションセンター見学



訓練期間中にお誕生日を迎えた生徒たちへ誕生日パーティー



ドナーのみなさまへのお礼の手紙を作成。 生徒一人一人に卒業後の進路インタビューも行いました。



事業費の使途

- •日本人講師の渡航費、保険料、謝金
- ・ラオス人トレーナー、コーディネーター等の謝金
- ・訓練所と寮の施設使用費、光熱費など
- ・実習における教材、消耗品などの購入、印刷費など
- ・車両費(レンタカー、ガソリン代など)
- ・農園消耗品購入など

持続発展性

・ビエンチャン都教育局 およびナーンサイトン郡 の職員と協働して事業を実施することにより、本事業終了後も持続的に介護職業訓練が実施される体制を構築している。

昨年度は2名は補助トレーナーとして採用、3名は医療系大学、専門学校進学を目指し、1名は介護士として就職が決定した。

・弊団体が実施している奨学金制度を利用して、 訓練生が無料で学べる機会を提供しています。

